

2007 年度

科目名 ドイツ語 I (コミュニケーション)	対象学科・学年 文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 伊東 史明
授業テーマ ドイツ語の基本構造及びドイツ生活文化とコミュニケーション		
授業の概要と目標 ドイツ語の基礎を学習していきながら、ドイツの社会・風俗・生活習慣の説明を行い、彼我の文化の相違について考えていきたい。1 年間で簡単な買い物などのコミュニケーションもできるようにする予定。 尚テキストの 1～3 課はもっとも基礎的な部分であり、ドイツ語を形作る根本である。ここで決して遅れをとらないように。予習は必須。予習してこないものは出席と認めないから心しておくこと。しかし何よりも楽しく学ぶことが大事である。これまで知らない文化や街を知る楽しみを見出して欲しい。授業には独和辞書必携。		
評価方法 年 2 回の定期テスト及び平常点。平常点とは予習を前提とした発表点のことである。出席は必ず 2/3 以上の事。		
テキスト ドイツ語インフォメーション	著者 秋田静男 他	出版社 朝日出版社
参考書 辞書類に関しては最初の授業で説明する。		
授業スケジュール・内容 [前期] 1～3. ドイツの現状・ドイツ語の欧州語としての文化的位置・発音・数字 4～5. 動詞の現在人称変化・冠詞類・人称代名詞 Lektion 1~2 6. 定冠詞と名詞の格変化 [ドイツの環境問題意識] Lektion 3 7～10. 冠詞類・不規則変化動詞 [ドイツのサッカー] Lektion 4~5 11～12. 不規則変化動詞 2・非人称 es [アイスカフェー] Lektion 6 13～ 前置詞 [ドイツの街と旅行事情] Lektion 7 [後期] 14～15. 話法の助動詞 [EU について] Lektion 7~8 16～17. 分離動詞と非分離動詞 Lektion 9 [ドイツの飲食文化—レストランでの注文の仕方、メニューの見方について、ヨーロッパの鉄道事情と時刻表の読み方] 19～21. 形容詞・再帰動詞 [ドイツのクリスマス] Lektion 10 22. 過去形 [ドイツの一般的文化風俗] Lektion 11 23～25. 完了形・受動態 [ドイツの歴史的事柄] Lektion 12		